



神楽ロードもうすぐ完成

ほん ちよう あき んど
本丁商人とその仲間たち



難波彰浩さん

作りで制作しました。作業は和やかな雰囲気が進むのでいつの間にか時間が過ぎ、いつも深夜に及びました。平成19年12月には大國主命など10体が完成。商店街

風物詩となっています。そんな彼らが次に取り組んだのが、陶製の神楽オブジェ。この会の代表・難波彰浩さん(60)は「本丁に自分たちで作った神楽のオブジェが並ぶ神楽ロードを作って、吹屋ふるさと村や成羽町美術館を訪れた人に見てもらい、商店街を盛り上げたい」と語ります。オブジェの制作は平成19年1月から開始。会員や、土曜夜市を通じて仲間になった地域住民ら総勢15人ほどが毎週水曜日の夜、会員で陶芸家の田辺典子さん(46)方の工房に集合。田辺さんに指導を受けながら、土ひねり、焼き上げ、ベンガラを使った色付けなど、手



成羽町本丁商店街の若者で組織する「本丁商人」。「本丁から元気を発信して地域を盛り上げよう」と始めた「本丁土曜夜市」は、今では他の地域住民や吉備国際大学生なども参加する成羽の夏の

設置され、お披露目会も盛大に行われました。昨年夏には4体を追加制作、現在は14体の神楽オブジェが商店街に並んでいます。

この神楽ロードの集大成として、昨年夏から「吉備津彦命」と「温羅」を制作しており、近く完成する予定です。今までの14体がおよそ50センチの体長であるのに対し、この2体は大きく、吉備津彦命は剣先までの体長が1メートル30センチにもなり、使った粘土の量も3倍のこと。

1月28日の作業には10人が参加し、2体の上半身と下半身の結合部分の制作など、最終的な微調整を行いました。指導した田辺さんは「素人とは思えない出来栄え。この仲間と作れたことを誇りに思います」。町内下原から参加した加藤裕和さん(47)は、「毎回楽しく参加させてもらった。2体の設置が楽しみです」と話します。

「長年の夢だった神楽ロードがもうすぐ完成。皆さんぜひ見に来てくださいい」と難波さん。

2体は成羽町美術館の入口付近に設置され、3月1日のお披露目会でお目見えします。



郷土資料館がリニューアル



作業を終えた学生たち

向町にある郷土資料館は、明治37年(1904)、旧高粱尋常高等小学校本館として建てられた建物で、市の重要文化財に指定されています。

昭和53年4月に郷土資料館として開館し、市民の皆さんから寄贈された、江戸から昭和にかけての民俗資料など約3000点を展示しています。しかし、開館当初に比べて資料が膨大に増え、その整理が必要となっていました。

そこで昨年4月から、吉備国際大学文化財学部文化財修復国際協力学科と教育委員

会が連携し、館内の現状分析や展示資料の配置替え、展示物の説明板設置などの作業を進めてきました。このほど、その整理作業が終了し、展示資料がより観覧しやすくなりました。

館内には、蓄音機やラジオ、農具、タバコに関するものなど、生活様式の変化の中で消えつつある貴重な資料が多くあります。ぜひ、この機会に、郷土資料館で高粱の暮らしの歴史を再発見してみてください。

▷入館料：大人300円、小中学生150円（団体割引あり）▷開館時間：午前9時～午後5時

■問い合わせ 教育委員会高粱分室(TEL 0288)、高粱学園入試広報室(フリーダイヤル0120-25-9944)

編集後記

朝の通学・通勤時間帯、備中高梁駅では大勢の高校生・大学生が降り、列になって登校する姿が見られます。高粱市を訪れる観光客などからは、「山あいの小さなまちにしては、若者の姿が多いですね」と小さな驚きを耳にします。

今月号の特集、学園文化都市づくりでは、何人かの学生取材しました。彼らは、自分の考えをしっかりと持って、生き生きとした表情

で語りかけてくれました。「高粱の印象は」と聞くと、「親切な人が多く、城下町で落ち着いたまち」と答えてくれました。

2月8日には、学生が主体となり初めてのダンスイベントが文化交流館で開かれ、会場は若者の熱気で盛り上がりました。

こうした若い学生のパワーが、地域の活性化につながればいいですね。

(N・K)

まちの伝言板

ヤマセミ・クマタカ 観察会



高粱野鳥の会 会長 小見山節夫さん(71)

市の鳥ヤマセミは、数が少なく、生息地も限られています。美しい鳥ですが、なかなか普段見ることが出来ません。また、クマタカも希少な鳥ですが、これから繁殖期に入り、つがいので飛ぶので観察するには、これからのいい時期です。

このヤマセミ・クマタカを多くの人に知ってもらおうと、高粱野鳥の会主催の観察会が開かれます。

当日は市役所前に集合し、バスで新成羽川ダム周辺に移動して観察します。

「成羽川流域は、ヤマセミやクマタカの生息数が多い地域です。山々に草木が芽吹くいい季節、私たちがご案内しますので、ぜひ、ご参加ください。」

「大きい」と小見山さん。

詳細は次のとおりです。

▽日時：3月22日(日) 午前9時～午後2時(雨天時中止)

▽定員：20人

▽参加費：一人1000円(小学生以下500円)

▽申込方法：3月14日(土)必着で、参加希望者の住所・氏名・年齢・電話番号を明記し、はがきかファックス、Eメールで左記まで

▽その他

- 長袖、長スボン、帽子、手袋、運動靴の動きやすい服装でご参加ください。
- 昼食、飲物、観察用具(双眼鏡など)をご持参ください。

※双眼鏡がない場合は主催者で準備します。申込時にお申し出ください。

■問い合わせ・申し込み 高粱野鳥の会会長・小見山さん(TEL 716-10038 高粱市浜町1285-1) (TEL 1000-FAX 1741) Eメール koido@bronzeocn.jp)